

## 令和3年度 第1回京丹後市図書館協議会 会議録

1 開催日時 令和3年8月19日(木) 午後2時～午後4時

2 開催場所 京丹後市役所 大宮庁舎4階 第2・3会議室

3 出席者 村上弘樹委員(会長)、松岡豊美委員(副会長) 増田明子委員、  
寺田裕美子委員、東恵美子委員、下岡道代委員、味田佳子委員、  
東哲委員、

(事務局) 松本教育委員会教育長、引野教育委員会教育次長、川村生涯学習課課長、  
坪倉生涯学習課課長補佐、亀田図書館長、田辺主任

(欠席) 伊藤慎二委員、日野竹夫委員

### 4 議題

説明・報告、協議事項

- (1) 令和2年度市立図書館の利用状況について
- (2) 令和3年度市立図書館事業計画及び実施状況について
- (3) 図書館新規事業について
- (4) その他

### 5 公開又は非公開の別

公開

### 6 傍聴人の人数

1人

《 議事経緯 》

### ● 開会

事務局        それでは、ただいまから第1回 京丹後市 図書館協議会を開会いたします。開会にあたりまして、村上会長からご挨拶をお願いいたします。

## ● 挨拶

会 長        皆さん、こんにちは。ご苦勞様です。本年度第1回の協議会ということで、またこうしてお世話になります。この間ですけれども、私いろんな場面でもお話よくさせていただくのですが、去年の今頃どのような思いでいたのか、この協議会ですと前回は12月で年が明ければどんなコロナの状況があるのかも、春から夏にかけては平常に戻っているのではないかなどと思っていた自分があるわけですが、なかなかそんな状況はありませんし、変異株の件もあります。市内でも防災無線放送があったりし、大変厳しい状況でありますけれども、この資料を前回事前にいただきまして、見させていただく中で、この間あの4月頃閉館のところはぐっと利用者の数が少なくなっておりますけれども、まあそういう中でも取り組みを進めていただき、図書館に関わるこの活動、人の動き、関わりがこの間の取り組みの中でお世話になっているんだなあということを深く思いました。何か、ぱったり止まっているような感じで、私自身もあまり家から出ないようなことがありますので、社会の中ではそういう部分でも十分配慮しながら進めていただいている、知恵を出し合ってつないでいく、そしてそれを経験値をもとにして活かすことが大切ではないかということで、また今日も事務局の方から色々なご提起があらうかと思っておりますけれども、そういう面でこの間の、それぞれの委員様の経験とか体験なども元にして、もっとこういうふうにしてみてもどうかとか、また新たな視点でのご意見もいただければありがたいと思います。この協議会では、平成30年に答申を出していただいております、その答申をもとに取り組みを進めて、委員様方のご意見もいただいております。その中で、久美浜図書室それから丹後図書室の改善を大変良い形で進めてきていただいているところでもございますし、また中央図書館のことにつきましても、一つの課題ということで前回の時にもご意見いただいていたと思います。それともう一つは日常のこの図書館に関わる教育活動と言いますか、生涯学習に関わる部分も、その取り組みについてまたいろいろな関わりをいただく中で、全般的な生活の中でのこの図書活動、また文化に関わるこの活動についての意見をいただければ大変ありがたいかなというふうに思っております。資料の中では、新しい市の総合計画を基にした推進事業のグランドデザインというのも最後の方に資料をつけていただいております。それらのすべてが関わりながら、その中でまた皆さんが持っていていただく視点を活かしていただけたらなあとも思っておりますので、今日もそれぞれ忌憚のないご意見をいただきまして、よろしくをお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

次に、京丹後市教育委員会教育長 松本明彦からご挨拶を申し上げます

教育長

はい、失礼いたします。本日はお忙しいなか「第1回の図書館協議会」にお集まりいただき、本当にありがとうございます。今、村上会長様からもありましたように、非常にコロナの状況が厳しい状況になっておりまして、本日までのまん延防止等の措置から、明日からいよいよまた緊急事態宣言の中で、学校生活であったり、生涯学習の活動であったりというようなところになっていくということにならざるを得ない状況となっています。市立の図書館につきましては引き続き開館しながら、ただですね、館内での滞留時間を短時間とするような協力をお願いしながら、緊急事態宣言中においてもですね、活動していきたいなというふうに思っているところであります。ただ、27日から小中学校が2学期を迎えるということですが、これまでで一番感染リスクの高い中での教育活動となるかというふうに思いますので、そうしたあたりも十分、教職員一同自覚しながら、教育活動を進めていかなければならないなというふうに思っています。読み聞かせの方々にもいつもお世話になっている学校での活動ですが、市内の方に限るということではありますけれども、この期間であっても活動はしていただけるような方向で今考えておりますので、読書活動についても、停滞することなく進めていただけるのではないかと考えているのですが、今この状況ですので、いつどのように困難な状況が起こり得るかもしれないということも踏まえおいていただけたらというふうに思っております。子供達に関わる教職員はですね、もう小学校の方ではおおよその先生が2回目のワクチン接種も終わって、中学校も来週あたりで2回目がおおよその方が受けていただく、というようなところで、そうしたあたりでもワクチンを接種しながら創意工夫した教育活動を、この中でも進めようとしているところであります。読書活動というのは、本当に皆さんに言うまでもありませんけれども、子供の想像力、心の豊かさ、それから子供の論理的な思考力を育むうえでも、本当に優れているというようなところもはっきりしておりますし、読書活動にいそしんでいる子供たちの基礎的な学力が高いことも全国学力、学習状況調査の結果等からも明らかになっているのであり、今後も読書活動というところの重要性はデジタル化が今日の資料の内容の中にもありますけれども、デジタル化は進んでいくにつれても、読書がその重要性は決して低くなるものではなく、ますます増してくるものであろうかというふうに思っておりますので、そうした中で図書館のあり方を検討していくことも重要な、より重要性を増してくるのではないかと考えております。

本日の会議では、報告事項 や図書館の新規事業又会長様からもありましたように、答申いただいた都市拠点における中央図書館のあり方等についてもご意見をいただければと考えておりますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

次に次第4の委員の紹介に移ります。

残念ながら本日は欠席ということではありますが、今年度5月より任命させていただきました委員の紹介をさせていただきます。昨年度お世話になりました、長岡小学校の山形校長が解任となりまして、宇川小学校伊藤真司校長を5月6日付けで委員に任命させていただいております。本来でありましたらこの場で任命通知を交付させていただくところではありますが、伊藤委員にはすでに通知書の送付をもって交付に代えさせていただきましたので、ご報告いたします。

それでは、続きまして5の議事に移らせていただきます。

このあとの協議につきましては、京丹後市図書館条例施行規則に基づきまして、会長が議長になっていただくことになっておりますので、よろしくお願いたします。

議事に移る前に、資料の確認をさせていただきます。

#### 【事務局による資料確認】

事務局 それでは、会長よろしくお願いたします。

#### ● 報告・協議事項

会長 はい、それでは進行をさせていただきたいと思えます

報告・協議事項（1）令和2年度市立図書館の利用状況について、説明をお願いします

#### 【（1）令和2年度市立図書館の利用状況について

##### 資料1-1・1-2・1-3・1-4・1-5の説明】

会長 ありがとうございます。図書館の利用状況について、これに関わりましてご質問とかご意見ございましたら、お願したいと思えますがいかがでしょうか。

委員 1枚目の資料数の推移のところ先ほど説明もあつたんですが、あみの図書館の蔵書数がすごく減っているのは、たちばな会館の資料がなくなったということですか。それは、データを消してしまった後、その資料はどうようになったのですか。

事務局　　たちばな会館の図書室の資料は、あみの図書館の蔵書ということで今まであったのですけれども、図書室が令和2年の4月30日で閉鎖ということになりましたので、その後、市内の図書館図書室の職員で確認し、市の図書室に移動して蔵書とできる資料については登録の変更をし、そのまま利用しているのですが、重複した資料などもたくさんありましたので、地域の保育所と小学校、サロンの方にも見ていただき、使っていただけるものはそちらでも使っていただいています。それ以外については、職員でチェックし、使えるものについては、除籍後市民の方に使ってもらえるよう、リサイクルとして今出しているところです。

委員　　そしたら、あみの図書館の資料数が何千冊か減っているのはそれが主な原因ということですね。はい、わかりました、ありがとうございます。

会長　　ほか、委員の皆さんいかがでしょうか。

委員　　ありがとうございます。私も歳いったということもあって、孫とよく行かせていただき、貸していただいています、愛用させていただいたとるわけですが、その中でやっぱり子供とかいろいろな層の方が来館されていて、どういった年齢、年代ごとにこういう本が読みたいとか、我々であれば教養とか、趣味よき人生をとる部分があると思うのですが、そういう中で、どういうことが今求められているかというようなことがすごく大事だと思ったりしまして、あとの資料の中でも予算を増額 いただいておりますような状況ですし、利用する場合にやっぱり読みたいものがそこへ行けばある、というような状況、また京丹後市が地域の振興、地域づくりの面からはこういうことを皆さんに知ってもらったり、力になったりということもあるでしょうし、学校であれば、学校それぞれが成長に合わせた部分もあるでしょうし、今私も学校との関わりもさせていただいておりますけれども、それぞれの目標を持って学期ごとに行っておられるので、それに対応することがどうなのか、と言うなことがちょっと気になりましたね。丹後図書室を世代別に分析していただいているわけですが、是非あ他の館もされているかとは思いますが、どういう傾向の資料とか本が読まれているのか、また貸出しがよくあるのかというのはみていただきたいです。何回か行くと人によって関心のある分野があるのですが、その分野の本がなくなるわけです。その分野、私であれば例えば農業の関係で、またこれからの農業とかいうものを読んだら、その次はもう少し幅広くとか深くとかいう時に、何回か行くともう読む本がなくなるということがあるので、その辺また今後もできる範囲でご提示いただいて、我々としてもそういう本が必要だと提言できるような場も作ってもらったらいいと違うかなと思っています。大変色々分析していただき、ありがたいと思います。

会 長       ありがとうございます。その辺りについて後にも出てくるかと思いますが、何か図書館の中で工夫しておられることとか、もしあったら報告をお世話になったらと思います。

事務局       前回は選書のことを意見いただきまして、その際にあみの図書館が開館した時に、選定委員という制度がありましたよということ教えていただきまして、どういった形でされていたのかなとその当時の資料を調べてみたりしました。その当時、あみの図書館についている図書の購入費用、予算が実は今の6館分の予算よりもたくさんついておりまして、図書をどんどん購入して整理しなければいけない時期であり、その選定委員もある一定期間で長くはなかったと資料確認させていただきました。今市としてそういった選定委員というような形をとるべきなのかかどうかということも、内部でも協議もしたのですが、なかなか今の予算の中でこういった形をとって、人的な時間も含めて難しいなということで、リクエストという制度がありますので、またそれぞれの委員様で図書館利用していただく中で、こういった資料が少ないな、こんな良い資料があるから入れたらどうか、ということがありましたら、リクエストという制度を使って紹介していただけるとありがたいと思います。もちろん、リクエストいただいてそれが全て購入できるかと言われると、もちろん所蔵資料として適しているかどうかということも含めて協議してということにはなりますが、そういった資料が購入していくことの参考にはなるとと思います、制度利用していただけたらと思います。

委 員       リクエストの制度も利用させていただいています、ありがとうございます。それを先にお礼言うべきですけど、申し遅れましてありがとうございます。何かリクエストを書くような様式はないのですね。

事務局       様式あります。カウンターで申出ていただければ。様式でなくても、こういった本をと言っていたいただければ、受けさせていただきます。

委 員       ありがとうございます。

会 長       はい、ありがとうございます。他の委員の中でご質問とかご意見、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでしたら、また途中ででも後の部分で、もしもありましたら出していただけたらと思います。資料たくさんありますので、次に移らせていただきます。（2）令和3年度市立図書館事業計画及び予算について、よろしくをお願いします。

【(2) 令和3年度市立図書館事業計画及び予算について     資料2-1・2の説明】

会 長        はい、ありがとうございます。それでは事業計画並びに予算についてご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

              はい、特に委員の皆様方ございませんか。

委 員        図書館の北部地域の対応、大変ありがたいことですし、他の図書館に行ったら京丹後市より優れているな、本も多いと感じたり、少ないと感じたりする場合もあるわけですが、そういう場合この地域の図書館の人口比なのか面積比なのか分かりませんが、何か行政間での図書の比率とか、比較されたようなことがあるのでしょうか。もし今わかっていれば教えてほしいと思います。整備などがある特別な年は仕方がないと思います。平常ベースで、教育水準、社会教育などいろいろな部分で地域の自治意識などもありますし、成長を促進することもあると思いますので、そういったことを達成するために、やはり予算というものの一定の整理がいるのと違うかなと思ひまして、参考までに聞いてみたわけです。

会 長        はい、他の市町とか近くでは宮津ですとか、そういった図書の割合ですとか、全予算に関わるとか、そういうことがもしも以前に検討なり、それはそれぞれの自治体によってその特徴的なことはあろうかと思ひますけどね。

事務局       はい、比較と言いますか予算に関しての厳密な比較ということではないのですが、今手元にある資料としまして、一昨年度予算額ですが、与謝野町でしたら資料費が今年の京丹後市の約 1/2、宮津市で 600 万円の予算がついています。厳密に予算を組むときに、近隣にどれくらいの予算がついているということは資料として提示しながら予算要求もしているのですけれども、なかなか施設の数とかもありますし、厳密な比較ということとは、ちょっとできていない状況です。

会 長        はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

委 員        はい、すいません、お願いします。図書館事業計画 資料 2-1 にあります事業計画の中で、行事で丹後図書室に梅田俊作さんの原画展が何回か書いてありますね。私も行かせていただいて、昨年たまたま行った時に原画展をされていて、とても良いなと思ったので、たまたま行ったのですがけれども、あまり知られていないかなと。私自身、広報とかよく丹念に見ている方なのですが、目にしておらず、たまたま行ったら見ることができて、とっても良かったなあと思ったんです。そういう周知をできたらしていただいて、皆さんに見ていただいたら、たくさんの人に見てもらったらいいのになっというふうに思ったことと、丹後図書室以外でも、この梅田さんの原画展、予定に入っていないようなので、そういうことをしていただけたらありがたいなと計画を見て感じました。

会 長           ありがとうございます。原画展につきまして、何かございますか。

事務局           はい、資料を見ていただいたように5月 7月 9月に梅田俊作先生の方から頂いた原画を2ヶ月に1回、その時期、季節にあった内容の絵本の原画を展示させていただいています。確かに、図書室開館当時原画展をしていますとお伝えしたものの、それ以降については、絵本が変わりましたとかの広報も欠けていたかなと思います。今後はもっと広報をしていきたいと思います。ほか、おはなし会の中で先生の原画を紹介しながらおはなし会をして、ということを計画していた館もあるのですが、実施することができずに実現しなかったということもあります。

委 員           先ほどの件と同じような事なのですが、丹後図書室のみ原画展をあの壁のところにしてもらって居るのですが、他ではできないのでしょうか。図書館、図書室では。例えば今おっしゃったようにその時期にあったおはなし会で活用ということですが、おはなし会に参加しなかったら一般の図書館に来館した者は見せていただけないですね。やっぱり少しでも人の目に触れて、素晴らしい絵ですし、物語もありますので、そんなことが考えてもらえたらありがたいなと思います。

委 員           その図書室の職員の方がもったいないな、どこかに回す方法ないかな、どこかに展示できるところがないかなと悩んでおられました。だから、活用したほうがいいと思います、私も。図書の職員さん達皆さんがそう言ってね、私聞いたのです。これ、どうかなあ、公民館にしたらあかんかなあと言って。私、本当に活きたものは大いに活用して、子どもに刺激を与えないとあかんと思います。

副会長           広報とお知らせ版を視覚障害の人に音訳しているので、割と隅々まで見ているのです。広報の図書館のコーナーがありますね。お知らせ版は、文字でいっぱい書いてあるし、今から実施することではあるのですが、広報は終わったことの内容が多いですが、でもやっぱり写真入りで、こんな事やってみましたみたいなことで。梅田俊作さんについては語るとたくさんになると思うのですが、図書館の利用者カードの絵も梅田さんの絵本から取っていますし、そんなことも含めて、綺麗なカラーでご報告なんかするのも、こんなことやっているんだ、と皆さん関心が持てるんじゃないかなと、今ふと思いましたので、また是非コーナーでもいいし、他の記事のところでも、私充分いいニュースだと思いますので、野村克也さんですけど、梅田俊作さんも京丹後が生んだ素晴らしい方ですし、是非お願いしたいと思います。

事務局           はい、他の館もということで、頂いた当時から各館に1枚ずつでも飾ってと



指示も受けておりながら、私がサボっておりました。今後、対応していきたいと思えます。

会 長        はい、ありがとうございます。その他で、委員の皆さん何かありますか。

委 員        はい、この事業計画、新しいことスタンプカード事業ですとか、それから私は見せていただいてないのですが、梅田俊作さんの原画展がとても良かったっていうことで、新しいことを工夫して十分でないスタッフの皆さんで頑張っておられるなと思い、とてもありがたいなと思っています。先ほどの来館者数のところでもありましたけど、どうも限られた方が来られているような、そんな印象があります。裾野を広げるようなことをするためにも、広報ですね、私随分前からホームページやSNSみたいなのをを使って、これもまた人数が少ない中でとても難しいと思うのですが、紙だけではなくてホームページなんかも使っていたらより良くなるのじゃないかなと思っています。京丹後市のホームページ、図書館のページどこにあるか、皆さん見られたことあると思うのですが、とっても下の方にあるんです。是非もう少し目立つようなところで、こんないいことをたくさんしていただいているので、そんなふうにしていただいたらいいかなと思っていました。それから、もう一つですけども、今夏休みで子供たちが自主学習や自由研究みたいなのをやる時に、図書館で本を借りると思うんですけど、その時に必ず出典を書くようにと、そういう指導は学校の方ではしてもらっているのかな、と思って。小学1年生ぐらいの時から、資料を使った時には必ず出典、どんな本を使いました、というのを書くような、そういう指導もしっかりもしいただけるのであれば、図書館を利用するっていうことも、また少し変わってくるのかなと思ったので、ちょっとお願いをしたいなと思いました。

会 長        はい、ありがとうございます。今日は小学校と中学校からの委員の方がおられないので、また…。

教育長        はい、今委員の言われる通りで、そういう指導は読書感想とか、そういうところではきちっと出典を記載するのは当たり前なんですけども、多くの学校で言われるように自由研究ということで模造紙を1枚もらってきて、そして研究をお家の方と協力しながらやり展示する、というこの取り組みを小学校でやっているところがたくさんありますけれども、そういう中で本当に何を元にして調べたのかっていうところが、とても大事なところで、ここ数年の傾向ですと、安直にですねインターネット、それもその出典が明らかでない、事実かどうか明らかでないものを上がってきたものから拾っている、ないしはそのままを書き写してる、というような現状があるので、学校でも図書館から波及して、そして詳しく調べたもの図書館でこういったものがある、はっきりとこういう資料を元に作りまし

たよ というふうにしていくのが、課題解決的な学習の基本だと思いますので、そういったところは学校にも今後伝えていく必要があるというふうに思います。

事務局 今委員からありました、広報が足りない部分があるということで、担当課としましても、図書館としましても、都度ホームページに掲載し、ホームページと Facebook 連動しておりますので、そういった発信もやっていってはいるのですが、やはり欠けている部分ですとか、タイミングを逸してしまった部分というのはありますので、今まで以上にそういったことに力を入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

事務局 今、子育てに関して「子育て LINE」というものがあり、おはなし会の開催であるとか図書館の行事とか、その LINE の方にも掲載させていただいているのですが、10月からの予定ですが、市としてその LINE の内容を拡張し、子育てだけでなく、市全体の業務について、もっと LINE を使って知らせしていくということを今進めていっています。その中で、図書館についてももっともっとそういったことも使って広報していけたらと思っております。

会 長 はい、ありがとうございました。他の委員の皆さんでいかがでしょうか。いいでしょうか。そうでしたら、たくさん貴重な意見ありがとうございました。それでは、次へ進めさせていただけたらと思います。(3) 図書館新規事業についてということで、ひとつずつ、新しいことですので説明いただいて、またご審議いただくという形にしていきたいと思っております。1) の雑誌スポンサー制度について、よろしくお願いします。

### 【(3) 図書館新規事業について 1) 雑誌スポンサー制度

#### 資料3-1-1・3-1-2・3-1-3の説明】

会 長 ありがとうございます。雑誌スポンサー制度についてですが、私もこれ資料見させていただいて、雑誌の数というのがこんなにたくさんあるのだなと見ておったんですけど、何か会員の皆様方ではないでしょうか。

企業の方への啓発といいますか周知といいますか、その紹介は商工会の関係からこういうものがありますよという形で紹介をさせていただいているということでしょうか。何か市の方から今度こういう取り組みをしますという形で、啓発やお知らせをしているとか、そういうことではないでしょうか。

事務局 そうですね、ちょっと今までのそこまでできてない状況ですが、数件問い合わせとかはあります。ちらしを見ただけではわかりにくいと思っておりますので、その都

度説明はさせていただいているのですが、実際に申し込んでいただいているではないです。

事務局 商工会への働きかけということで役員会の方へ行かせていただき説明をして、それぞれの下部組織の組合員の方ということで説明をしたのですが、なかなかやっぱり端々までそういった情報が入っていかないのかなということもありますし、今度9月ぐらいだと聞いているのですが、各組合員さんにそれぞれ配布する資料がある時に、スポンサー制度のチラシも入れさせていただけないかということをお願いしております。次9月に配布があるからということで、そこにチラシ入れさせていただいて、また説明が必要であればすぐに行って説明もさせていただきますとお伝えさせていただいております。

会 長 はい、ありがとうございます。それではスポンサー制度の取り組みについて今尋ねていただいているということですが、他にご質問とかないでしょうか。それでは、次へいかさせていただきます。2)の国会図書館デジタル化資料送信サービスについて、説明をお願いします。

【(3) 図書館新規事業について 2) 国会図書館デジタル化資料送信サービス  
資料3-2の説明】

会 長 ありがとうございます。送信サービスについてはいかがでしょうか。また図書館の方でも周知していただくということですね。そういうこと、あったらいいなと思っておられる方はきっとおられるのではないかなと思いますので、またよろしくお願ひいたします。では、3)のWi-Fi接続について、お願いします。

【(3) 図書館新規事業について 3) Wi-Fi 接続 資料3-3の説明】

会 長 はい、ありがとうございます。今のWi-Fiの接続についてですが、弥栄と久美浜には、順次入るといいますか。

事務局 いえ、利用できる状態にはなっています。利用の申請をまだ受けていないということですが。

会 長 わかりました。委員の皆さんいかがでしょうか。

委 員 はい、ありがとうございます。1台に3人ずつということですが、何台あるのかなということ、パスワードは一回聞いたら毎回そのパスワードを使うのか

ということ、ネット動画を見るのは禁止ということなのか、ということが聞きたいです。

事務局 はい、ルーターの台数は、峰山・あみの・丹後が2台、大宮・弥栄・久美浜が1台で、全部で9台です。パスワードについては、変更しておりません。ですから一度登録すれば利用できる形にはなります。ネット動画の関係ですが、元々このWi-Fiの接続については、利用者の方がいろいろなことを調べるということの一つの手助けになるということで始めたものですが、その動画について本人が資料として調べるのに必要な場合はもちろん見ていただかないと思いますが、ゲームと横並びに書いてはいるのですが、そこで映画を見るだとか、そういった娯楽的な楽しみで見るということは止めてくださいということをお願いしています。

委員 いろいろ運用しながら、またパスワードも1回知ると届く範囲で勝手につながっている人がいるのかな、とかありますので運用しながらまた変わっていくこともあるのかなと思いました。

会長 ありがとうございます。他の委員の皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、次いかせていただきます。4) 除菌機設置ということで説明、よろしくをお願いします

#### 【(3) 図書館新規事業について 4) 除菌機設置 資料3-4の説明】

会長 はい、ありがとうございました。除菌器の設置のことについてよろしいでしょうか、特にありませんか。

委員 利用させていただいています。コロナ禍でもありますし、投資効果はあると思います。

委員 はい、私も7月に利用させていただきました。孫を連れて利用したのですが、その時にこういう物が入ったんだということで、やっぱり今の時期コロナのこともありますし、本当に誰が使っても後々気持ちよくまた利用できるということで、今まではずっと拭いておられたのは見ていたのですが、こういう機械が入って大変良いなと思いました。

会長 はい、ありがとうございます。他いかがでしょうか。

はい、それでは次へいかせていただきたいと思います。5) 「野村克也図書コーナー」設置について、よろしくをお願いします。

【(3) 図書館新規事業について 5)「野村克也図書コーナー」設置 資料3-5の説明】

会 長 はい、ありがとうございました。この件につきまして、特にありませんでしょうか。

委 員 素晴らしい本もありますし、私もよく読ませてもらっています。丹後の場合、まだまだね 松本重太郎さんとか小牧さんとか、いろんな地域ごとに誇るべき人がおられると思うのです。やっぱりこの野村さんのことを進めてもらいながら、一人一人育成といいますか、心の問題とか生き方の問題とか、大変素晴らしい人が沢山おられるので、丹後の誇りを子供達にも持ってもらうという意味で、規模やお金の問題は別にして、そういうことを少しでも図書館の中で、町や地域ごとにこの地域であれば誰とか、地域ごとに特色を持たせてもいいと思いますので、将来の展開として、この経験を活かしてもらったらうれしいなというふうに思います。

会 長 ありがとうございます。他の委員さんいかがでしょうか。それでは、図書館の新規事業についてということで説明については終了させてもらいたいと思いますが、最後その他についてですが、ここまでの(1)(2)(3)で何か言い残したことなど何かありましたら、ここで出していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

委 員 ちょっとお願いがあるのですが。閉館日が2館4室とも月曜日ですけど、どこかひとつでも違う日にしていただくことはできないでしょうか。何年前にも私お話ししたのですが、この間若いお母さんから、今夏休みだし行こうと思ったらどこも休みなんですねっていうことだったのです。やはり、どこか開いていると、京丹後市あまり広くないので30分圏内で峰山だったら、大宮でもそれから丹後町でも、一番遠い久美浜でも行けますし、どこかが開いているといいなあと話をしていたんです。なんとか検討願えませんか。また、季節的にもですね、夏休みということもありますし、ちょっと無理なようだったら、その長期休みの時だけでもしていただくと。言いますのが、私は図書館利用するのに我が娘たちが幼少の頃に、図書館に行ったら子供たちも夏休みなんか特に多かったですし、大人も多かったです。でもこの頃はひっそりとしていて、やっぱり裾野を広げるという意味では、一人でも多く子供達に、将来を担っている京丹後市の宝に匹敵する子供達に本に親しむという素晴らしさを、小さい時わからんかもしれないですが、大きくなったら、やっぱりそれなりに自分がどういう状況で大きくなって、本に親しむことがこんなに素晴らしかったんだ、ということを実感をもつ

て味わってもらいたいですし、書籍によって開けていくものがあるということも、やっぱり大人達が考えてやることじゃないかなと思います。そういう要求のある時にこそ広げていく、それから裾野を広げるということと、興味を持ってもらうということは先ほどの梅田俊作先生の原画展でもそうですが、見たらその本が借りたくなるし、やっぱりそういうことのひとつ一つの積み重ねが活動じゃないかと思いますので、どうぞ検討してください。お願いします。

事務局　　今ご意見いただきました休館日の関係ですが、確かにこれまでからもこの協議会の中で何度かご意見を頂いて、今月曜日が休館日ということで、6館共同じ日が休みでということとさせていただいていますが、その理由の一つとしましては、火曜日から金曜日の平日、庁舎内の配送を利用しまして6館の資料を回しています。午前中に峰山以外のところから回収をして、ちょうどお昼に峰山に届き、午後に今度は各館から回収した予約の資料であるとか、返却のあった資料を峰山以外のところへまた送る、という形を取らせていただいております。これが休館日が変わってくると、止まってしまうところが出る。やはりそうではなく少しでも早く利用者の方に届けたいという意味もあり、曜日によってどこかが止まり、休館日が違うことにより、止まる館が違ってくるといった煩雑さをなくすということも含め、同じ日で休館とさせていただきます。今ご意見いただきましたように、どこかが開いていれば利用できるということ、今までから他からもそういった声は聞かせていただいております。もうひとつの長期の休み、夏休みの間だけでもということも、いろいろ生活様式が変わってくる中で、今までの理由だけではなく、一つ検討も必要かなということを感じております。休館日に関して、また利用者の方にとって本来休館日は必要のないものかもしれないですし、そういったことも含めて、また検討はしていきたいと思っております。

会　長　　はい、ありがとうございました。他に。

委　員　　雑誌スポンサーを募集しますということですが、これをすると同時に中央図書館が答申にあがっていますね。だからこれを企業の方に含めて、募集と同時に、こんなふうに図書館が計画しているのだけでも、予算がなかなかののだと、そういう訴えも含めてしてもらえたら、私すっごく企業の方もわかってくれると思うのです。だから、やっぱりそういうふうに早く動かさないと、また難しい難しいで過ごさずにどこからか進まない。資料4-2のどこにもいい案が、私もパソコンで調べたりしてきましたけど、本当に持続可能な開発目標や国際目標ですよ、あの資料を読んでいると、いつまでもそこで止まっていたらあかん、実現するにはやっぱり子供を育てるためには、そういう大事なことが欠けてしまうと、この目標は実現できないと、この歳の者が言うのはおかしいかもしれないで

すが、企業に訴えると同時に図書館の必要性も一緒にしていただけると、私すごくうれしいです。本当にやっぱりしないと前に進みません。

会 長 はい、ありがとうございました。他にいいかがでしょうか。  
そうでしたら、(4) その他へいかせていただきます。

【(4) その他 資料4-1、4-2の説明】

会 長 ありがとうございます。都市拠点等の在り方の黒で抜いてあるところですが、令和3年度は、しんざん小学校隣接地について検討というのは、しんざん小学校のところを拠点として考える、という意味合いですか。

事務局 はい、そのように聞いております。

会 長 それで、令和4年度はそれを基にして基本構想が絞られていくといいますか、充実させていく、構想が固まっていくというふうな形になるのですか。

教育次長 今、わかっている範囲で補足させていただきます。この都市拠点というイメージ図がありますが場所が分かりにくいと思うのですが、山陰近畿自動車道の峰山のインターチェンジが今工事が進められていますが、そのインターチェンジへのアクセス道路が、このしんざん小学校の隣に下りてくるという予定になっています。ちょうどしんざん小学校よりも大宮側、南側に細い道がありこの道を挟んだ場所、メイン側の場所に道路がつながりますので、その辺り都市拠点を整備してはどうかという構想がありまして、そのあり方を今から検討していくということです。先ほどありましたように、図書館協議会の答申でイメージされている場所とそんなに違わないのかな、ということかなと思いますので、もし皆さんの方でご意見があればいただきたいなと思いますし、この今の4-2の資料の右下の方に、拠点等整備まちづくり推進基金を創設1億円ということで、企業の方からも協力していただいたらという話もあったのですが、皆様や企業の皆様から頂いた税金を活用させていただくということですが、今年度は1億円で、来年度以降もいくらかずつ積み立てていくということになると思うんですが、こういった都市拠点等を整備していくための基金も積み立てていくということも、新たに始めますので、そういった財源も確保するといった事も始めながら、具体的な構想も検討していくというふうなことが今6月議会で承認いただいて、今から始まるというところです。

会 長 ありがとうございます。委員の皆様方がいいかでしょうか。具体的な形で構想が進められていくという、伏線のといいますか当然のことながらこの文化に関わ

るような施設ですとか、スポーツもですし生涯学習に関わるようなものもきっと大事にされるのではないかと、市の中心になるのではとっておりますけど。特によろしいでしょうか。では、事務局の方からはその他でありますか。

事務局　その他としまして、前回の開催時に、毎年の報告に対しては結果としてだけでなく分析や対策が必要だというご意見をいただき、また子どもの読書活動推進計画についても進捗管理だとか進捗状況の報告をさせていただきながら、どういったことをすべきか提起もさせていただきたい、またそういった視点で検討もさせていただきたい、というふうにお答えさせていただいたのですが、今回は今まで協議していただいたように今回はそのことに関しての資料の準備ができておりません。申し訳ありませんでした。次回には進捗管理であるとか問題提起など準備して、この場でまた協議いただけたらと思います。よろしくをお願いします。

会　長　はい、またそれではよろしくお願いたします。それでは、最後の6番のその他ですが、特にありませんか。ないようでしたら、報告、協議事項に関わりまして以上で終了させていただきたいというふうに思います。では、事務局の方にお返しいたします。

## ● 閉　会

事務局　はい、ありがとうございました。それでは、長時間にわたりありがとうございました。閉会にあたりまして松岡副会長からご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

副会長　長時間皆様ご苦労様でした。お疲れ様でした。今日は大変たくさん報告と協議事項があったように思います。いろんな意見を出され、良い協議ができたのではないかなと思います。また最後の方で都市拠点等のあり方について、すごくうれしいような報告が、希望が持てるような報告があつて良かったなと思います。私事になるのですが、コロナのワクチン接種が私弥栄の地域公民館だったので、ちょっと事情があり、すごく心配して遺書でも書いていこうかなと思うぐらい緊張して行きました。ですが、打つてみたらとあらつと思ってすごく気が楽になって、弥栄図書室にだから2回行きました。久しぶりに行きて、すごく工夫されていていいなと思いました。これはいいことだなと思って、全館利用してこようと思ひまして、この一か月ほどで全館回ってきました、利用してきました。丹後図書室も久美浜図書室もリニューアルオープン以来でした。すごく感慨深いいろいろな事を思ったのですが、大きなことをふたつ思ひました。一つは素晴らしいなと思うんです。ちょっと戻りますが、コロナ中でどんなに利用が下がっ



たんだろうか、みんな苦勞したんだろうなと思って、今日のグラフを見て良かったなと思いました。コロナで本当に大変な思いをして、職員が色々と工夫して思ったほど下がってなくて良かったなと思いました。それはちょっと別ですけども。丹後図書館も久美浜図書館も広々として、本を借りるっていう意味以外にもコロナ禍の中で、図書館、図書室の持つ皆があそこにいけてなんかホッとする場所という意味でも、また見直されるべきではないかなと思いました。昔のことに戻りますが、私は図書館を退職して10年目になります。図書館に11年おりました。1年目はあみの図書館のオープンの準備やら、自分が資格取ったりとかで1年終わりました。いわゆる図書館業務は10年と言われていまして、同じだけ、もう退職して過ぎてしまったなと思うのですが、合併してからは、本当にすごく怯えていた言葉がありました。指定管理です。指定管理にしてやるしてやるとうよく言われまして、図書館みたいな施設は、本当に公的な機関でない営利目的ではありませんので、本当の図書館の意義が活かさない、本当の図書館業務ができない、だから指定管理は絶対ダメだと言いながらずっとビクビクしておったのを思い出します。でも、京都府の中でももちろん地域も広いのですけれども、この人口の中で六つも図書館があるところないのです。ずっとずっと前はなかったし、今もないのだらうと思うのです。まあ怯えながらもおった図書館が六つも今もあって、丹後、久美浜にみるように、リニューアルされて良くなっているって事は素晴らしい事だなと思います。図書館の意義というものは、本当にもっとインターネットであり、いろんなメディアがある中で、本を読むっていうことの大切さ、図書館という空間、誰でも行ける図書館という空間があるということを広報してもらって、利用してほしいなと思いました。六つある、うれしいなと思って、感慨深かったです。もうひとつは、ちょっと裏腹ですけど、丹後図書館は海が見えるし孫も喜びました。久美浜も喜びました。私一人で大宮と弥栄と峰山も行きました。峰山も大勢の人が利用していて、工夫されていていいなと思いました。でもこの三つは狭く、それから、大宮なんかは利用多いと思うのですけれども、本当に天井が低くて、私が協議会をやっている時も皆さんから言われて言われてどうしようもなくて、本当に心苦しかったです。利用者として行っても、天井が低くて閉塞感があります。平井文庫っていう素晴らしいコーナーがあって、新しい本もたくさんある中で利用が進んでいても、本当に外に出たら息するような閉塞感、書架がいっぱいならんで、最後まで見通せないです。弥栄もすごく工夫されているけれども、もうこれ以上広がれない、峰山も広がれない、本当に工夫されていても限界があるなということを感じました。今報告いただきました都市拠点等のあり方が本当に図書館にとっていいように進んでですね、時間がかかっても良い結果になるように、答申をもう1度またみんなでこう胸に思い返してですね、協議会の中で中央図書館をつくるっていうことを忘れないで、これからも希望して意見に出していきたいなと思います。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

事務局        ありがとうございます。それでは次回、子どもの読書活動推進計画の進捗状況などにつきまして報告や協議をして行く予定にしておりますので、またその説にはよろしく願いいたします。

それでは、閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。